

伊勢原市商工会 平成30年度 経営発達支援計画目標対比実績管理表

2019.05.20 検証委員会

		担当 (下線は選択事業)	昨年度 実績値 (平成29年度)	本年度 目標値 (平成30年度)	本年度 実績値 (平成30年度)	評価委員 評価A~E で表示	評価委員コメント
※全職員：宮川・内海・小川・小泉・矢野・安野・樋口・伊藤を指す（局長を除く）							
<b>I. 経営発達支援事業の内容</b>							
<b>1. 地域の経済動向調査に関すること【指針③】</b>							
【調査分析等の目標】							
新規事業	①人口動向調査や神奈川県商業統計等の公的統計の活用	伊藤・小泉	年 0 回	年 1 回	年 0 回	E	6項目中で1項目の実施。実施そのものがまだ不十分であるが、地域経済動向調査は地域に対する調査であるので、活用は会員限定でなく広く情報発信する活動としてほしい。
既存改善	②景況調査の実施 ・景況調査結果の提供(15事業所)	全職員	年 4 回	年 4 回	年 4 回	A	慣れている既存事業ではあるが、設定した目標をきちんと実施できていることはよい。
新規事業	③中心市街地商店街等の通行量調査の実施 ・通行量調査	小泉・安野	年 0 回	年 2 回	年 0 回	E	実施されていない(どうしたら実施できるか、実施のため計画をまず立案することが重要)
	・広報誌「あふり」による提供	伊藤・小川	年 0 回	年 4 回	年 0 回	E	実施されていない(調査が実施さえできれば、情報発信はできるはず)
	・商工会ホームページ等での情報発信	樋口・小泉	年 0 回	年 4 回	年 0 回	E	
	・巡回訪問による情報提供	全職員×5件	年 0 件	計 60 件	計 0 件	E	
<b>2. 経営状況の分析に関すること【指針①】</b>							
【小規模事業者の経営分析目標】							
新規事業	①簡易経営分析ツールの活用 ・簡易経営分析ツールの活用件数	指導員4名・小川	計 0 件	計 10 件	計 2 件	D	7項目中で2項目の実施。実施そのものがまだ不十分であるが、経営状況分析は需要動向調査とともに個社に対する分析であり、個社それぞれの現状の課題改善策を考える出発点になるので、もっと実施率を上げてほしい。
既存改善	②財務分析面での経営自己診断システムの活用 ・経営自己診断システム活用件数	全職員×2件	年 0 件	年 16 件	年 0 件	E	今年初めて実施できたことは素晴らしい。実施数が少し少ないので評価はDであるが、今後もっと提供数を増やしてほしい。
既存改善	③経営分析におけるエキスパート事業の専門家の活用 ・気づきセミナー開催件数	樋口・伊藤	年 0 回	年 1 回	年 0 回	E	既存事業であるので、今年は実施されていないのは残念である。来期は、適用できる会員を探し出す活動を計画してほしい。
新規事業	④経営分析の伴走型支援における専門家の活用 ・経営分析事業者数(総計)	指導員×3件 他職員×2件	計 0 件	計 20 件	計 0 件	E	実施されていない。②の適用できる会員の数が確保できないと③までいかないので、まずは②の数を増やし③につなげてほしい。
	・経営分析件数(巡回・窓口相談時)		0 件	16 件	0 件	E	実施できていない。専門家による伴走を求める会員をまずは探すことが重要である。
	・伴走型支援での分析件数		0 件	4 件	0 件	E	実施されていない
新規事業	⑤ホームページによる啓発活用 ・商工会ホームページ等での情報発信(アップ回数)	樋口・小泉	年 13 回	年 6 回	年 38 回	A+	大幅な発信ができており素晴らしい。量は質をカバーするので、来期もこれを維持してほしい。
<b>3. 事業計画策定支援に関すること【指針②】</b>							
【小規模事業者の事業計画策定支援目標】							
既存改善	①巡回訪問を強化 ・経営指導員等の巡回訪問による事業計画策定件数	指導員×3件 他職員×2件	年 0 件	年 20 件	年 2 件	D	8項目中で6項目の実施。昨年できなかったものに着手できたことは素晴らしい。今年初めて実施できたことは素晴らしい。今後数を増やしていけると良い。
既存改善	②個別相談やセミナーの開催 ・個別相談やセミナーからの経営指導員等の事業計画策定件数	全職員×1件	年 0 件	年 10 件	年 0 件	E	実施されていない。セミナーはどのくらいの会員が聞いてくれるかが重要であるが、まずは開催を計画してほしい。
既存改善	③事業計画策定支援におけるエキスパート事業の専門家の活用 ・エキスパート事業の専門家の派遣等による事業計画策定件数	全職員×1件	年 5 件	年 10 件	年 7 件	C	実施件数が増加してきたことは素晴らしい。数量目標に少し届かないのでCとするが、継続が重要なので来期も継続してほしい。
既存改善	④各種補助金の情報提供等支援 ・各種補助金情報提供等による事業計画策定支援	指導員×1件	年 15 件	年 4 件	年 8 件	A	採択率は25%であるが、支援件数は目標を達成しているので評価はAとする。まずは支援の数を確保することは重要である。
新規事業	⑤小規模事業者経営発達支援融資の情報提供等支援 ・小規模事業者経営発達支援融資支援件数による事業計画策定件数	小泉・内海	年 0 件	年 2 件	年 0 件	E	実施されていない。来期は、まずは情報の発信は計画してほしい。
既存改善	⑥各種専門家相談 ・各種専門家相談(経営・法律・特許・建築)	矢野・内海	年 36 件	年 30 件	年 21 件	C	目標達成率が70%なのでC評価とするが、既存事業としての活動継続ができていないことは高評価である。
新規事業	⑦事業計画策定の伴走型支援における専門家の活用 ・事業計画策定の伴走型支援における専門家での事業計画策定件数	指導員×1件 安野	年 0 件	年 5 件	年 3 件	C	今年初めて実施できたことは素晴らしい。伴走型の支援なので、本来は件数よりは継続性が重要である。今期も継続実施してほしい。
新規事業	⑧創業支援における事業計画策定支援 ・創業支援における事業計画策定件数	指導員×1件	年 8 件	年 5 件	年 6 件	A+	創業支援は、目標数を超える実施ができており高評価である。
<b>4. 事業計画策定後の実施支援に関すること【指針②】</b>							
【事業計画策定後のフォローアップ支援に関する目標】							
新規事業	①経営指導員等による定期的な事業計画策定後の実施フォローアップ ・経営指導員等による事業計画策定後の実施フォローアップ事業者数	指導員×4件 他職員×3件	年 0 件	年 30 件	年 0 件	E	5項目中で3項目の実施。初めて実施できた項目があるのは良い。実施されていない。事業計画策定を支援しているので、フォローアップは是非やってほしい。
既存改善	②エキスパート事業での事業計画策定後の実施フォローアップ ・エキスパート事業での事業計画策定後の実施フォローアップ事業者数	全職員×1件	年 0 件	年 10 件	年 0 件	E	実施されていない。事業計画策定を支援しているので、フォローアップは是非やってほしい。
新規事業	③事業計画策定後の実施フォローアップの伴走型支援における専門家の活用 ・事業計画策定後の実施フォローアップの伴走型支援における専門家のフォローアップ事業者数	指導員×1~2件	年 0 件	年 5 件	年 1 件	D	達成数は少ないが、今年初めて実施できていることは良い。計画策定数が増えれば、フォローアップも増えるはず。
新規事業	④各種補助金及び小規模事業者経営発達支援融資支援後のフォローアップ ・各種補助金及び小規模事業者経営発達支援融資支援後のフォローアップ事業者数	指導員×1~2件	年 6 件	年 6 件	年 2 件	C	補助金での支援に対しては、できれば全数フォローアップしてほしい。
新規事業	⑤創業者に対する事業計画策定後の実施フォローアップ ・創業者に対する事業計画策定後のフォローアップ事業者数	指導員×1件	年 4 件	年 5 件	年 6 件	A+	創業支援は、目標数を超える実施ができており高評価である。
<b>5. 需要動向調査に関すること【指針③】</b>							
【需要動向調査に関する目標】							
新規事業	①展示会・イベント等でのパイヤーのニーズと消費者ニーズ調査 ・展示会開催時の工業系ニーズ調査(支援事業者数) ・イベント開催時の商業観光系ニーズ調査(支援事業者数)	宮川・樋口 小川・小泉	年 6 件 年 1 件	年 2 件 年 2 件	年 5 件 年 0 件	A+ E	7項目中で1項目の実施。実施そのものがまだ不十分であるが、需要動向調査は経営状況分析とともに個社に対する調査であり、個社の外部環境の現状を知りまたそこから発生する課題を考える出発点になるので、もっと実施率を上げてほしい。
新規事業	②市場環境の調査分析 ・市場環境の調査分析(支援事業者数)	伊藤・内海	年 0 件	年 1 件	年 0 件	E	展示会開催時の工業系ニーズ調査は、きちんとできて高評価。観光系は実施されていない。どうやるかの実施を検討してほしい。
新規事業	③需要動向の把握 ・需要動向調査の実施時調査(支援事業者数) ・需要動向調査の啓発活動回数(巡回時啓蒙先数)	矢野・小川	年 0 件	年 1 件	年 0 件	E	実施されていない。どうやるかの実施を検討してほしい。
新規事業	④需要動向調査の必要性の啓蒙と支援先の掘り起こし ・支援先の掘り起こし(新規支援事業者数)		宮川・小川	年 0 件	年 2 件	年 0 件	E
新規事業	⑤情報提供の有効性を検証するための委員会を活用 ・情報提供の有効数の検証	横溝・宮川	年 0 件	年 1 件	年 0 件	E	実施されていない。どうやるかの実施を検討してほしい。
<b>6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること【指針④】</b>							
【需要開拓支援の目標】							
既存改善	①工業系(製造業・建設業等向け)販路開拓支援 ・工業系支援1:商談機会の拡大 ・商談機会の拡大(事業者数)	宮川・樋口	年 6 件	年 10 件	年 5 件	C	6項目中で4項目の実施。実施項目が増えてきたことは素晴らしい。テクニカルショウヨコハマに出展での支援は評価できる

伊勢原市商工会 平成30年度 経営発達支援計画目標対比実績管理表

2019.05.20 検証委員会

		担当 (下線は選択事業)	昨年度 実績値 (平成29年度)	本年度 目標値 (平成30年度)	本年度 実績値 (平成30年度)	評価委員 評価A~E で表示	評価委員コメント
※全職員：宮川・内海・小川・小泉・矢野・安野・樋口・伊藤を指す（局長を除く）							
新規事業	②工業系支援2:商談会とセットで提案力向上を支援 ・商談会とセットで提案力向上(事業者数)	宮川・樋口	年 0 件	年 4 件	年 0 件	E	実施されていない
新規事業	③工業系支援3:事業者連携による商品サービス競争力強化支援 ・事業者連携による商品サービス強化(事業者数)	矢野・内海	年 0 件	年 2 件	年 0 件	E	実施されていない
商業観光系(飲食業・小売業等向け)販路開拓支援							
既存改善	④商業系支援1:即売会の機会提供と集客支援 ・即売会の機会提供と集客支援(実施回数)	小泉・小川	年 2 回	年 6 回	年 2 回	C	既存事業なので、対応件数をもっと増加してほしい。
新規事業	⑤商業系支援2:即売会とセットで販売力向上を支援 ・即売会とセットで販売力向上(支援先事業者数)	小泉・小川	年 0 件	年 10 件	年 2 件	D	今年初めて田実施できたことは素晴らしい。今後hア数を増やして いってほしい。
新規事業	⑥商業系支援3:継続的な需要獲得に向けた顧客化支援 ・継続的な需要獲得に向けた顧客化(支援先事業者数)	小泉・小川	年 2 件	年 10 件	年 5 件	C	昨年より、対応件数が増加していることは評価できる。
<b>II. 地域経済活性化に資する取り組み</b>							
<b>1. 中心市街地の賑わい創出による地域活性化事業</b>							
【到達目標(事業実施方針)】							
既存改善	①中心市街地の賑わい創出による地域活性化事業 ・商業のまちづくり協議会回数(全体会議、正副部会長会議) 商品サービス部会、プロモーション部会、まちなみ環境整備部会	内海 小泉・矢野・伊藤	年 39 回	年 25 回	年 30 回	A+	既存事業であり、目標以上の実施ができていることは良い。
既存改善	②商工まつり・納涼まつりの開催 ・商工まつり・納涼まつりの開催の件数	全員 青年部・女性部担当	年 2 回	年 2 回	年 2 回	A	既存事業であり、目標数の実施ができていることは良い。
<b>2. 歴史・観光に関連した商品・サービス企画・開発支援</b>							
【到達目標(事業実施方針)】							
既存改善	③駅周辺商店街連携イベントの開催 ・駅周辺商店街イベントの回数	小泉・矢野・伊藤	年 3 回	年 5 回	年 3 回	C	既存事業であり、継続実施ができていることは良い。
既存改善	④商店街観光ツアー等のイベントの開催 ・商店街観光ツアー等のイベントの回数	矢野・安野	年 0 回	年 4 回	年 1 回	D	今年新たに実施できて、素晴らしい。来期も継続してほしい。
新規事業	⑤観光関連事業との連携 ・観光関連事業と連携の回数	小泉・安野	年 1 件	年 2 件	年 1 件	C	実施は評価できる。目標件数をもっと増やしてほしい。
<b>3. 地域ブランド事業</b>							
【到達目標(事業実施方針)】							
新規事業	⑥地域ブランド事業の開発活動を支援 ・地域ブランドの開発活動を支援回数	小川・小泉	年 3 件	年 1 件	年 2 件	A+	新規事業であり、目標以上の実施ができていることは良い。
<b>III. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援向上のための取り組み</b>							
<b>1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等、情報交換に関すること</b>							
【ノウハウ等情報交換の目標】							
既存改善	①他の商工会・商工会議所、支援機関、専門家等との情報交換 ・近隣商工会等情報交換回数	宮川 他、指導員3名	年 2 回	年 2 回	年 3 回	A+	目標以上の実施ができおり、高評価である。
新規事業	②近隣商工会・商工会議所連絡会の開催 ・商工会・商工会議所連絡会回数	宮川 他、指導員3名	年 1 回	年 2 回	年 4 回	A+	目標以上の実施ができおり、高評価である。
新規事業	③地域経済動向や需要動向に関する情報獲得 ・支援機関等連絡会回数	宮川 他、指導員3名	年 0 回	年 2 回	年 1 回	D	今年初めて実施できて素晴らしい。目標件数評価でDとしている が、来期は計画件数を実施してほしい。
<b>2. 経営指導員等の資質向上に関すること</b>							
【資質向上の目標】							
集合研修							
既存改善	①神奈川県商工会連合会等主催研修会への参加 ・経営支援職員研修会の開催(支援職員8名の合計回数)	全職員 (特に指導員以外)	年 37 回	年 20 回	年 35 回	A+	既存事業であるが、目標数も超えて実施できたことは良い。
新規事業	②商工会内勉強会の実施 ・商工会内勉強会の回数(小川・小泉・矢野・安野・樋口・伊藤の持回り)	左記の担当職員	年 7 回	年 12 回	年 1 回	D	新規事業であるが、どうしたら件数を確保できるか検討して実施し てほしい。
個別研修							
既存改善	③WEB研修の受講 ・WEB研修の実施(年1回)	全職員	年 1 回	年 1 回	年 1 回	B	件数は目標数を達成しているが、全職員ではないのでB評価とする。
情報・支援ノウハウ共有							
新規事業	④チーム同行巡回による資質向上策 ・チーム同行巡回の回数(毎月)	宮川:小川、樋口 内海:安野、伊藤 小泉:矢野	年 回 年 回 年 回	年 48 回	年 25 回	C	今年からの実施で、十分評価できる。来季は件数を増やして いってほしい。
新規事業	⑤標準支援業務マニュアルの作成 ・マニュアル整備の実施(毎年更新)	宮川	年 0 回	年 1 回	年 0 回	E	実施されていない。今後は、形式的なマニュアルでなく、よい事例 を登録するなどの実質的なデータベース化を件とするよい。
新規事業	⑥成功事例・支援ノウハウのデータベースでの共有化 ・成功事例・支援ノウハウのデータベース共有化(毎年更新)	宮川	年 0 回	年 1 回	年 0 回	E	実施されていないが、良い事例は必ず見つかるはず。事例展開の 会でもよいから、まずは共有化から始めてほしい。
<b>3. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること</b>							
報告	①実績報告書作成 ・目標対実績管理表(当シート)を用いて実績報告書を作成 ・フォローした小規模事業者に対して満足アンケートの実施	内海 全職員	年 1 回 年 0 回	年 1 回 年 回	年 1 回 年 0 回	B E	6項目中で5項目の実施できており、良い。最後までキチンとフォ ローされて報告がされれば、評価はBとする。実施されなければ、 評価はDである。 目標管理はしっかりできている。 満足度調査は聞き取りでもよいので実施してほしい。
外部評価	②外部有識者による評価及び見直し ・非会員有識者等で構成する「経営発達支援計画検証委員会」の開催		年 1 回	年 1 回	年 1 回	予定 B	実施されて、コメントがキチンと出たのでBとする。
是正措置	③指導や助言方法、支援計画や支援体制などの見直し ・外部機関による評価と指摘に基づき、上記の見直し(是正措置)	横溝・宮川	年 0 回	年 1 回	年 1 回	B	これから実施予定のため、しっかり実施されればB評価とする。実施 されなければ、評価はEである。
講評・承認	④正副会長会議による評価・見直し方法の承認 ・正副会長会議及び理事会において評価・指摘・講評と承認を受ける		年 1 回	年 1 回	年 1 回	予定 B	これから実施予定のため、しっかり実施されればB評価とする。実施 されなければ、評価はEである。
講評・承認	⑤事業の成果、評価及び見直し結果の公表 ・理事会承認の後に、商工会報及びホームページで公表	樋口・伊藤	年 1 回	年 1 回	年 1 回	予定 B	これから実施予定のため、しっかり実施されればB評価とする。実施 されなければ、評価はEである。

評価基準 <定性評価(定量評価)>

A: 目標を達成することができた(100%以上) B: 目標を概ね達成することができた(80~99%)  
D: 目標をほとんど達成することができなかった(30%未満) A+: (110%~) E: 未実施

C: 目標を半分程度しか達成することができなかった(30~79%)

<総評は別紙記載>